

# 保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
  - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	DSPポータブルラジオ		★お買い上げ日： 年 月 日
型番	RAD-T550N	品番	07-6595 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 様		
	★ご住所 〒		
電話 ( )			
修理メモ			
販売店	★住所 店名 電話 <span style="float: right;">印</span>		

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに  
おいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保  
証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様  
の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、  
お買い上げの販売店または弊社修理ご相談セン  
ターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証  
期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動  
のために記載内容を利用させていただく場合があ  
りますので、ご了承ください。

○OHM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

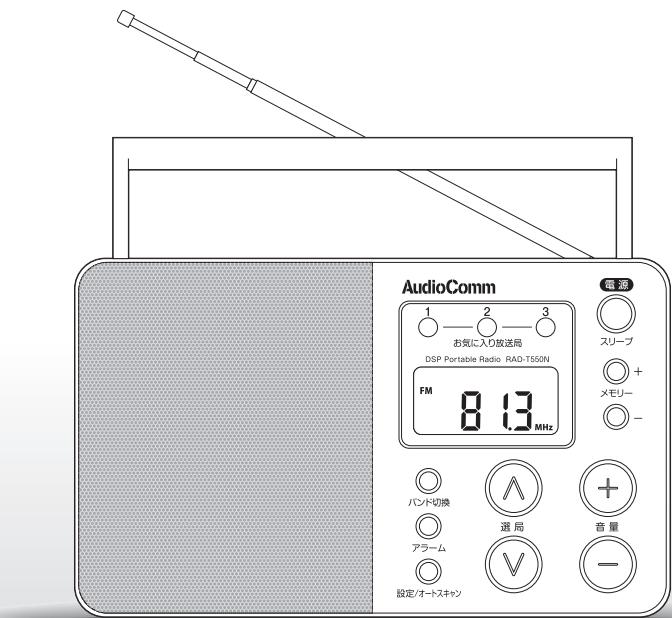
07-6595C

AudioComm®

# 取扱説明書 保証書付

## DSPポータブルラジオ

型番: RAD-T550N 品番: 07-6595



このたびは、AudioComm® DSPポータブルラジオをお買い上げいただき、  
誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。  
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、  
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、  
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

## 目次

免責事項	1	放送局を手動でメモリー登録するには
安全上のご注意	1～3	<手動メモリー登録> ..... 9
各部の名称	4	アラーム ..... 10～11
電源について	5～6	スリープ ..... 11
現在の時刻を設定する	6	ロック ..... 11
ラジオ放送を聞く	7～8	外部機器を接続する ..... 12
便利な選局機能		イヤホンで聞くには ..... 12
・よく聞く放送局を登録し、ワンタッチで選局するには		故障かなと思ったら ..... 13
<お気に入り放送局> ..... 8		主な仕様 ..... 13
・受信可能な放送局を一括でメモリー登録するには		お手入れのしかた ..... 14
<オートスキャン(自動一括登録)> ..... 9		保証書とアフターサービスについて ..... 14
		保証書 ..... 裏表紙

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品よりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

### 絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。  
(左図の場合は感電注意が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
(左図の場合は分解禁止が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。  
(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜くが描かれています。)

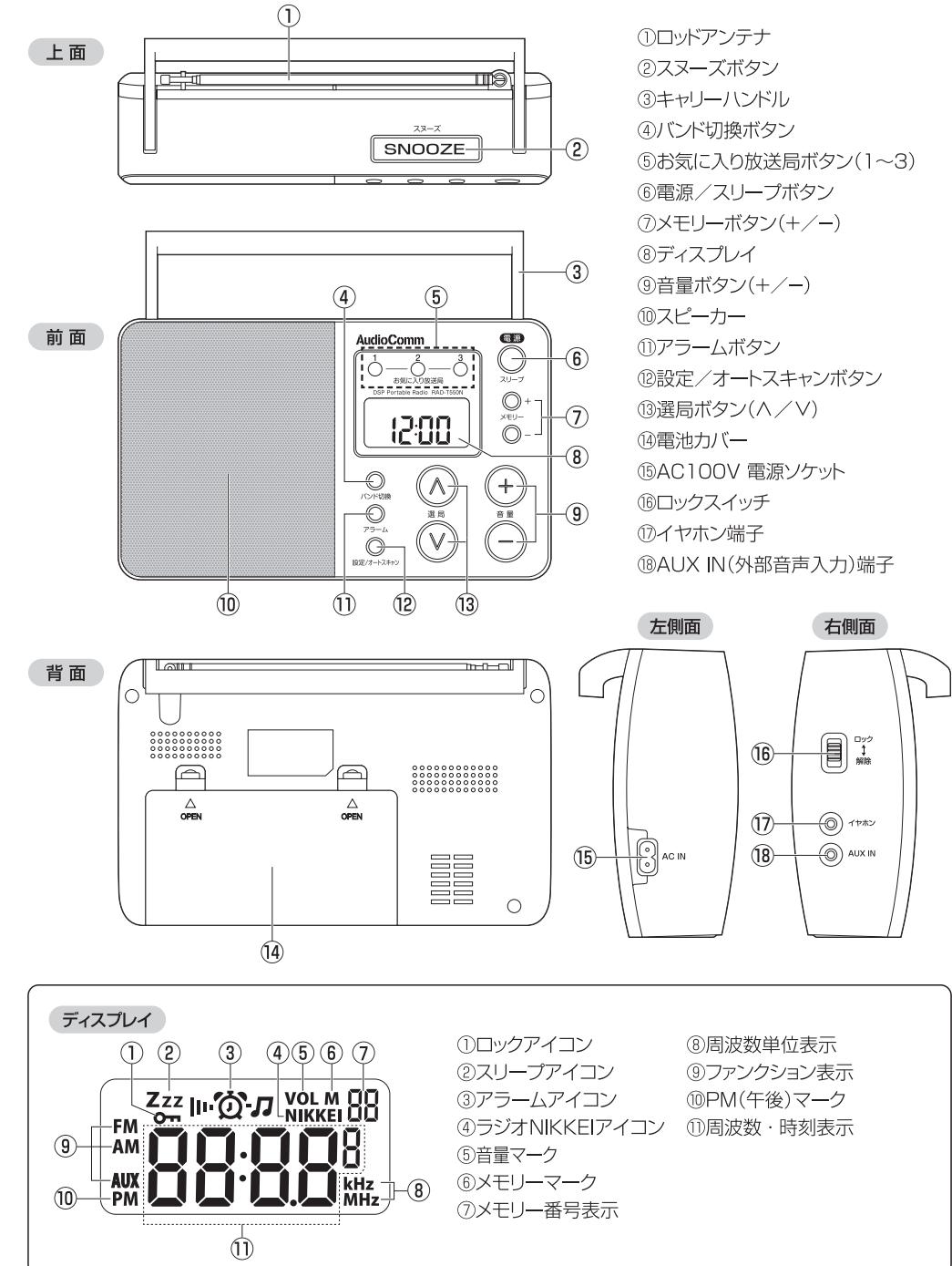
## 警告

	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>		<p>本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。</p>
	<p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>●販売店にご連絡ください。</li> </ul>		<p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。</li> <li>●本機の電源を切つただけでは、完全に電力を遮断できません。</li> </ul>		<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電のおそれがあります。</p>
	<p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となります。</li> </ul>		<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。</p>
	<p>海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災の原因となります。</li> <li>●この機器を使えるのは日本国内のみです。</li> </ul>		<p>本機や電源コードの上に重いものをせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>本製品を家庭用電源で使う場合は必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●付属の電源コードは本製品専用です。</li> <li>●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。</li> </ul>		<p>乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。</p>
	<p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災の原因となります。</li> </ul>		<p>浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。</p>

## ⚠ 注意

	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く。乾電池も取り外す ●感電の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		持ち運ぶときは、アンテナを縮める ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどして、けがの原因になることがあります。
	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。		移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。		電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	音量を上げすぎない ●周囲の迷惑になったり、聴力障害などの原因となることがあります。		電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
	乾電池は、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		
	指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。		

## 各部の名称



## 電源について



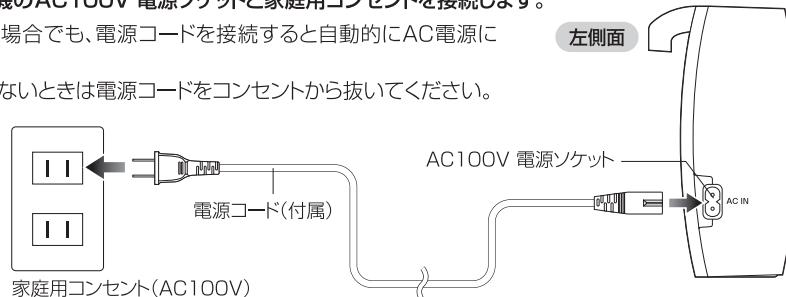
- 電源コードを抜き差したり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。

### 家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V 電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

- 乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。

- 本機を長期間使用しないときは電源コードをコンセントから抜いてください。



**ご注意** AC100V 電源ソケットに電源コードが接続された状態で家庭用コンセントからの電力供給が絶たれると(停電時など)、乾電池を装着していてもディスプレイが消え、時計設定が失われます。

付属の電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コードをお使いください。  
また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

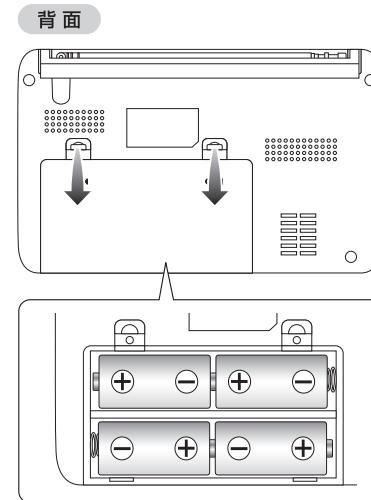
### 乾電池で使う場合

- 1 背面にある電池カバーのツメを外し、電池カバーを開けます。
- 2 乾電池の向きを確認し、図のように正しく入れてください(コイルばねのある方が $\ominus$ 側です。 $\ominus$ 側から先に装着してください)。
- 3 入れ終わったら電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。

#### ヒント 本機の設定記憶機能について

- 最後に聴いていた放送局、音量レベルは本機に記憶され、次に電源を入れたときはその状態で起動します。
- 家庭用電源、乾電池ともに電力供給が切れた状態でも、数分観はディスプレイの時刻表示が続けます。乾電池を交換する際は、1分間以内に行ってください(それ以上の時間が経過したときは、再設定してください)。
- アラーム時刻設定やラジオのメモリー登録は、電源供給が切れた場合でも保持されます。

- アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
- 長時間使用するときは、付属の電源コードを使用してください。
- 乾電池使用にて、乾電池が消耗していくとディスプレイ表示が暗くなったり、見づらくなることがあります。その場合は速やかに乾電池の交換を行ってください。



単1形乾電池×4本(別売)

## 乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



- 萬一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

- 萬一もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

## 現在の時刻を設定する

電源オフ時に操作してください。

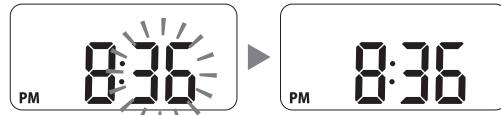
- 1 設定／オートスキャンボタンを約1秒間長押しします。  
ディスプレイの「時」表示が点滅します。



- 2 選局ボタン( $\wedge/\vee$ )を押して「時」を選び、設定／オートスキャンボタンを押します。  
午後の時間はPM(午後)マークが表示されます。「時」の設定後は「分」表示が点滅します。



- 3 選局ボタン( $\wedge/\vee$ )を押して「分」を選び、設定／オートスキャンボタンを押します。  
設定／オートスキャンボタンを押すと“ピッ”と音が鳴って設定が確定します。



#### ご注意

約5秒間何も操作しない時間が続くと、設定がキャンセルされます。もう一度最初からやり直してください。

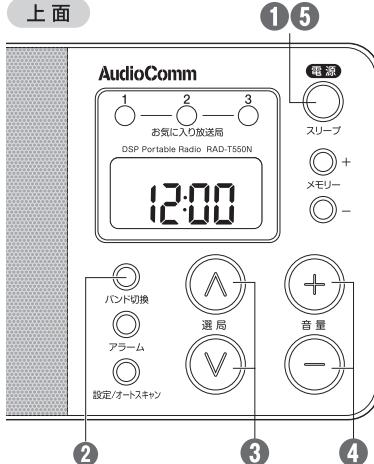
#### ヒント バックライトについて

- 電源オフ中にバックライトを点灯させるには  
電源／スリープボタンを除くいずれかのボタンを押すと約10秒間点灯します。

- 電源オン中にバックライトを点灯させるには  
スヌーズボタンを押すとバックライトが点灯します。  
また、何らかの操作をしたときも点灯します。  
何も操作しないと約5秒後に消灯します。

## ラジオ放送を聞く

上面

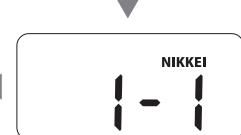


本機はFM周波数帯域が76.0～108.0MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

- 1 電源／スリープボタンを押して電源を入れます。**  
ディスプレイのバックライトが点灯し、「On」表示に続いてラジオの受信状態になります。  
※長押しするとスリープ設定モードになります(P.11参照)。



- 2 バンド切換ボタンを押してバンドを選びます。**  
バンド切換ボタンを押すたびに、「FM」→「AM」→「NIKKEI」→「AUX」(外部音声入力)の順で切り換わります。



- 3 選局ボタン(△/▽)を押して聴きたい放送局を選びます。**  
ディスプレイの周波数表示を見ながら選んでください。受信中は周波数と現在時刻が5秒ごとに交互表示されます。



選局ボタン(△/▽)を約1秒間長押しして指を離すと、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局で止まります。

- 4 音量ボタン(+/-)を押して音量を調節します。**  
周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。



00～18で調節できます。音量表示は約2秒後に消えます。

- 5 終了するときは電源／スリープボタンを押します。**  
「OFF」表示された後、時刻表示に戻ります。



### ヒント ラジオNIKKEIの受信について

ステップ②で「NIKKEI」を選ぶと、ラジオNIKKEIの短波放送を聴くことができます。選局ボタン(△/▽)を押すたびに周波数が送られますので、第1放送または第2放送それぞれで、最も良く聞こえる周波数をお選びください。



放送局表示例



周波数表示例

第1放送	1-1	3.925MHz
	1-2	6.055MHz
	1-3	9.595MHz
第2放送	2-1	3.945MHz
	2-2	6.115MHz
	2-3	9.760MHz

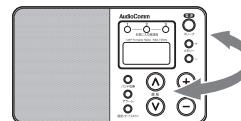
ラジオNIKKEI受信時は放送局、周波数、現在時刻が約5秒ごとに表示されます。

### ヒント より良く受信するために

一般に窓際のほうが良い状態で受信できます。

#### ●AM放送の受信

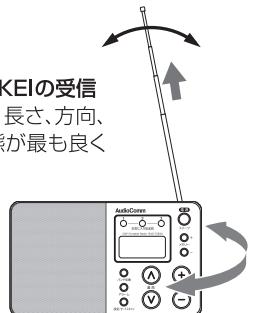
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きに合わせてください。



※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

#### ●FM放送・ラジオNIKKEIの受信

ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。



※持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、ロッドアンテナをたたんでください。

## 便利な選局機能

よく聞く放送局を登録し、ワンタッチで選局するには  
**お気に入り放送局**



約2秒間長押し



お気に入り放送局ボタン(1～3)によく聞く放送局を登録すると、そのボタンを押すだけで簡単に選局できるようになります。AM、FM、ラジオNIKKEIそれぞれに3局を登録できます。

#### 登録のしかた

登録したい放送局を受信した状態で、登録したい番号(1～3)を約2秒間長押しします。

●登録が完了すると「ピッ」と鳴って、ディスプレイ右上にメモリーマークとメモリーフレームが約2秒間表示されます。

#### 選局のしかた

バンド切換ボタンでバンドを選んだ後、聴きたい放送局の番号(1～3)を押します。

●ディスプレイ右上にメモリーマークとメモリーフレームが約3秒間表示されます。

**ヒント** ●お気に入り放送局ボタンの登録内容を消去することはできませんが、上記の操作または手動メモリ登録(次ページ参照)により上書きすることは可能です。

## 便利な選局機能(つづき)

受信可能な放送局を一括でメモリー登録するには

### オートスキャン(自動一括登録)



設定/オートスキャン

約4秒間長押し



オートスキャンを行うと、受信可能な放送局をAM放送、FM放送それぞれ最大22局まで一括して登録することができます。

#### 登録のしかた

設定/オートスキャンボタンを約4秒間長押しします。

- “ピピッ”と音が鳴ったら指を離してください。
- メモリーマークとメモリーフレームが点滅しながら周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます(メモリーフレームは4から始まります)。
- 受信可能な放送局を見つかると、一時停止しながらメモリーフレームが増えていきます。スキャニングが完了すると、もう一度“ピピッ”と鳴ります。

#### 選局のしかた

バンド切換ボタンでバンドを選んだ後、メモリーボタン(+/-)を押して選局します。

- ディスプレイ右上のメモリーフレームを確認しながら操作してください。メモリーマークとメモリーフレームは約3秒間表示されます。

#### ヒント

電波の受信状態によって登録できる放送局数が異なります。窓の近くなど、できるだけ電波状態の良い場所でスキャニングすることをお勧めします。

#### ご注意

すでにメモリー登録をしている場合、再度オートスキャンを実行すると、登録内容が消去され最初から登録し直されます。また、手動でメモリー登録した内容も上書きされます。

放送局を手動でメモリー登録するには

### 手動メモリー登録



設定/オートスキャン

約1秒間押す



メモリー



-

#### 登録のしかた

- 1 メモリー登録したい放送局を受信します。
- 2 設定/オートスキャンボタンを約1秒間長押しします。  
メモリーマークが表示され、メモリーフレームが点滅します。
- 3 メモリーボタン(+/-)を押して登録したいメモリーフレームを選び、設定/オートスキャンボタンを押します。  
登録が完了すると“ピッ”と音がします。

#### 選局のしかた

バンド切換ボタンでバンドを選んだ後、メモリーボタン(+/-)を押して選局します。

- メモリーフレームを確認しながら操作してください。メモリーフレームは約3秒間表示されます。

#### ヒント

- メモリーフレームはAM放送、FM放送それぞれ1~25に登録できます。
- メモリーフレームのうち1~3に登録すると、お気に入り放送局ボタン(1~3)の内容を上書きします。
- 登録した内容を消去することはできませんが、上記の操作により上書きすることは可能です。

#### ご注意

- 何も操作しない時間が約5秒間続くとキャンセルされます。その場合は最初からやり直してください。
- オートスキャンを実行すると手動での登録内容に上書きされます。

AM放送、FM放送受信時

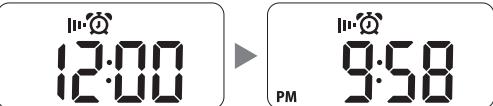
## アラーム

### 設定のしかた

電源オフ時に操作してください。また、アラーム音にラジオを使うときは、あらかじめ起動時に聴きたい放送局を受信した状態で電源をオフにしてから操作してください。

#### 1 アラームボタンを押します。

ディスプレイにアラームマークが表示され、アラーム起動時刻が約3秒間表示された後、現在時刻表示に戻ります。



#### 2 設定/オートスキャンボタンを約1秒間長押しします。

アラームマークと起動時刻の「時」が点滅します。



#### 3 選局ボタン(△/▽)を押して設定したい「時」を選び、設定/オートスキャンボタンを押します。

「時」を設定すると、「分」が点滅します。



#### 4 選局ボタン(△/▽)を押して設定したい「分」を選び、設定/オートスキャンボタンを押します。

「分」を設定すると、アラームアイコンだけが点滅します。



#### 5 選局ボタン(△/▽)を押してアラーム音を選び、設定/オートスキャンボタンを押します。

アラーム音は、ラジオと電子音のどちらかを選べます。設定がすべて完了すると、“ピッ”と音が鳴ります。



：電子音

：ラジオ

## アラーム(つづき)

### アラームが鳴ったら

設定した時刻になると、設定した音源でアラームが起動します。アラーム起動中はアラームアイコンが点滅し、バックライトもゆっくり点灯・点滅を繰り返します。

#### ●アラームを解除するには

電源／スリープボタンを押してください。アラームが解除され、電源がオフになります。

#### ●スヌーズ機能を使うには

スヌーズボタンを押すと、一暫時にアラーム音が中断し、約10分後に再度鳴り始めます。スヌーズ中はアラームアイコンが点滅します。



### ご注意

●アラームはそのまま放置すると、ラジオ、電子音とともに1時間鳴り続けます。周囲の迷惑にならないよう十分ご注意ください。

●アラームを解除しても、翌日同じ時刻に再度起動します。起動設定を解除するには、電源オフ時にアラームボタンを押してディスプレイのアラームアイコンを消してください。

## スリープ

自動電源オフまでの時間を設定します。90分、60分、30分、15分から選べます。

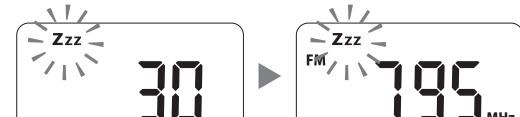
電源オフ時に操作してください。

- 電源／スリープボタンを約1秒間長押しします。  
ディスプレイにスリープマークが点滅し「90」が表示されたら、指を離します。



- 電源／スリープボタンを数回押して自動電源オフまでの時間を選び、そのままにします。

しばらくすると「0」が表示され、電源が入ります。スリープ設定が有効なときはスリープマークが点滅します。



### ヒント

自動電源オフ後、設定内容は保持されませんので、必要に応じて再設定してください。

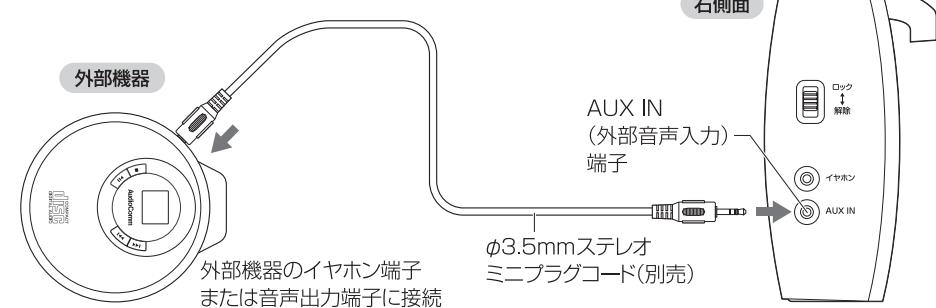


右側面のロックスイッチを「ロック」側に合わせると、本機のボタン操作ができなくなります。操作をするときは「解除」側に戻してください。

## 外部機器を接続する

本機のAUX IN(外部音声入力)端子と外部機器を、φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続して、ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの音楽を楽しむことができます。

※スピーカーからの出力音声はモノラルです。



- 上図を参照して接続した後、双方の機器の電源を入れます。



- バンド切換ボタンを数回押してAUXを選び、その後、外部機器側で再生などの操作をしてください。



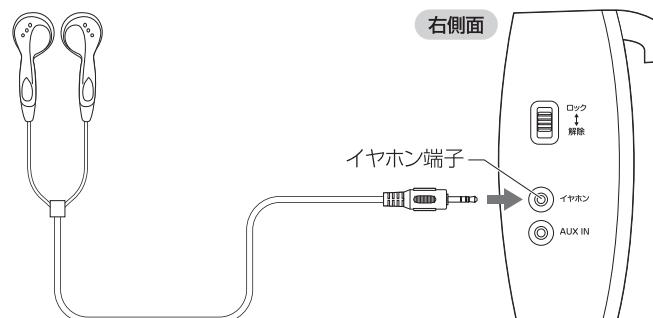
- 終了するときは双方の電源を切った後、接続を解除します。

### ご注意

- コードの接続及び解除は、双方の機器とも電源オフの状態で行ってください。
- 音量の調節は、本機及び外部機器双方で可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続解除後に電源を入れたとき、突然大きな音が出る場合がありますので、十分ご注意ください。

## イヤホンで聴くには

イヤホンで聴くときは、別売のステレオイヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーからの音は聞こえなくなります。



### ヒント

- FMステレオ放送を受信しているときや、外部機器接続にてステレオ音源を再生しているときは、イヤホンでステレオ音声を楽しむことができます。

### ご注意

- 片耳イヤホンなど、モノラルミニプラグのイヤホンをご使用の場合、音声は聞こえません。必ずステレオミニプラグのイヤホンをお使いください。

## 故障かなと思ったら

症 状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードが正しく接続されていますか。接続部がゆるんでいませんか。</li> <li>●他の製品の電源コードを使用していませんか。</li> <li>●乾電池が正しく入っていますか。また、乾電池は消耗していませんか。</li> <li>●ロック機能が有効になっていませんか。</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量が最小になっていますか。</li> <li>●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。</li> <li>●バンド切換が「AUX」になっていますか。</li> </ul>
雑音が入る 音が震える	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話を本機から離して使用してください)。</li> <li>●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くでAM放送を受信していませんか(雑音が入ることがあります)。また、テレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れことがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。</li> </ul>
オーツスキャンが うまくできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電波の弱い場所で使っていませんか。窓際などできるだけ良好な環境下でお試しください。</li> </ul>
途中で電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スリープが設定されていませんか。</li> </ul>
ディスプレイ表示が 暗い、見づらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池の消耗が考えられます。速やかに新しい乾電池と交換してください。</li> </ul>

## 主な仕様

電源	AC100V 50/60Hz	DC 6V (単1形乾電池×4個 別売)
消費電力	5W	
受信周波数	AM : 522~1710kHz 9kHzステップ FM : 76.0~108.0MHz 100kHzステップ (FM補完放送「ワイドFM」対応) ラジオNIKKEI (第1) : 3.925MHz, 6.055MHz, 9.595MHz ラジオNIKKEI (第2) : 3.945MHz, 6.115MHz, 9.760MHz	
アンテナ	FM・ラジオNIKKEI : ロッドアンテナ AM : 内蔵フェライトバーインテナ	
スピーカー	直径10.6cm (1W)	
外部入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック	
イヤホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック	
電池持続時間の目安	<スピーカー出力時> AM : 約340時間、FM : 約310時間、ラジオNIKKEI : 約340時間 <イヤホン出力時> AM : 約390時間、FM : 約360時間、ラジオNIKKEI : 約390時間	
外形寸法	幅237×高さ148×奥行64mm (突起物含まず)	
質量	約756g (乾電池含まず)	
時計精度	月差約30秒以内	
付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書 (本書)	

※電池持続時間の目安は、アルカリ乾電池新品使用、音量中程度にてご使用時の目安です。※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

## お手入れのしかた

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。  
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、  
アルコールなどは  
使用しない

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### ●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### ●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。